



かぶがれびょう

イチジク株枯れ病を知っていますか？



症状①

結果枝（その年に実がつく枝）の伸長不良



症状②

高温乾燥に葉が萎凋



症状③

黄化・落葉し枯死

イチジク
株枯病に強い
改植用苗木

イチジク株枯れ病（かぶがれびょう）を知っていますか。
上の写真のような状態が見られたら、イチジク株枯病かもしれません！

その他、下記のような症状が見られる場合もあります。

- ・幹の地際部分に黒褐色病斑がみられる
- ・地際部を切断すると、表層から内部に向かって褐色に腐敗している

株枯病は土壤伝染します！

全国的に広がる原因は罹病苗（病気にかかっている苗）の持ちこみによるものと考えられています。

予防

一般に菌の発生は過湿から起こります。水をやりすぎず、気候条件に常に気を配りましょう。
土を定期的に入れ替えましょう。土中に菌が発生していても感染を防げます。



対策

農薬の使用による防除：トップジンM水和剤、トリフミン水和剤、ルミライト水和剤のかん注処理を行う。
農薬以外の防除：新植、改植時に罹病苗を持ち込まないようにする。（発病した圃場に改植する場合、そのまま植えつけては同じことの繰り返しです。土壤消毒を行い、土壤中のイチジク株枯病菌密度を下げる必要があります）

しかし、土壤消毒や、太陽熱で菌密度を減少させることはできても、太陽熱のみで土壤中の病原菌を完全に死滅させることは困難です。そこで、本病が発生した圃場では改植しても再発するので、抵抗性のある台木を利用します。